

貴方に短歌

三上 鯛

この世界貴方で全部出来ている だから私は原料、貴方

二人きりカラオケルーム十五番あえてシェアするマイク一つ

「ウサギ肉シチューにしたら美味しいよ」

「食べてみたいの？」

「食べてもいいの？」

今日、ここで貴方は躓き怪我をした。そして、名もなき星が減んだ。

顔の目の下の黒子はずっと前、私が貴方に触れた証拠

凹凸の無い球の神様みたい 貴方はどこから見ても神様。

もし仮に、宇宙が無限に広いなら、貴方はこの世の中心なのか。

ビッグバン貴方と私が昔から一つだった証拠だから、支持

定理でも公理だろうと偽と貴方が言ったら偽になる そんな定義

虚しさのエサになるのはこの距離と会えない期間と貴方の恋人

セックスとキスで変わる関係を選んだ貴方が分からなくなる

好きや愛で括れる程度の感情で、貴方を縛るなんて傲慢

Without 貴方の未来を生きていく想像すらも *Me*君のまま

嘘。不実。欺き。妄言。虚偽。そら音。

ほら日本語はこんなに鮮やか。

真空の袋の中すら大量に原子があるのに貴方だけ無い

外れしか無い屋台みたい貴方だけ無い日常で初めて目覚める

一生涯幸せにする と言えるほど私は貴方を軽んじれない

ねえいつか貴方が死んでしまうとき、

最後に吸い込む酸素になりたい

今世ではきつと二人は近すぎた。来世は七夕みたいな距離で